

令和7年度

国立市立国立第六小学校
自閉症・情緒しょうがい等特別支援学級
「フレンド」



国立市立国立第六小学校特別支援学級 フレンド



〒186-0011 国立市谷保6600

電話 042-575-7771(フレンド直通)

042-572-6177(国立六小)

ファクシミリ 042-572-6178(国立六小職員室)

ホームページ <http://www.kunitachi.ed.jp/el06>

令和5年度(2023年) 開級

学校の教育目標

一人一人の子供たちのよさや可能性を生かし、他者と協働しながら豊かな人生を切り開く資質・能力を育てるために以下の学校目標を掲げます。

○よく考える子

◎なかよく助け合う子（令和 7 年度 重点目標）

○元気でたくましい子

特別支援学級「フレンド」の教育目標

学校の教育目標を踏まえ、児童の発達やしょうがいの状況に応じて個々の課題を的確に把握するとともに、一人一人の児童の特性を生かし、よさや可能性を最大限伸ばすことを目標にする。

特別支援学級の教育目標を達成するための教育方針

（1） 確かな学力の定着

自閉症や情緒しょうがいのなどの認知特性や実態を把握し、学習環境や指導形態を工夫して個々の能力の伸長を図る。

（2） 教科の指導

通常の学級の学年・教科ごとの年間指導計画に基づき、自閉症や情緒しょうがいの特性に応じて個別指導計画を作成し、基礎的・基本的な知識、技能の習得を図る。

（3） 基本的な生活習慣の確立

身辺自立能力を育成することや学校生活習慣の確立、主体的に社会参加をしようとする意欲を育てることなどを目指して自立活動の時間の充実を図る。

（4） 小集団活動、学級全体での活動

役割や分担を設定し、人とのよりよい関係づくりを形成していく中で、社会性やコミュニケーション力を高め、自尊感情や自己肯定感を高める。

（5） 日常生活

課題を把握し、個別の教育支援計画(学校生活支援シート)、個別指導計画を作成して家庭との連携を図りながら指導を進める。

（6） 関連機関との連携

教育委員会及び関係機関、医療・療育機関、就学前期間、市内特別支援学級との連携を図り、児童の発達段階としょうがいの特性に応じた連続性のある指導の充実を図る。

特別支援学級(情緒しょうがい等)での学習内容

(1) 自立活動

○自己や他者を理解し、小集団指導の中で、コミュニケーション能力や社会性を育てます。

○主体的に社会参加をしようとする意欲を育て、キャリア教育の充実を図ります。

(2) 自立活動年間指導計画(週に3時間の指導とする)

		健康の保持	心理的な安定	人間関係の把握	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
1学期	目標	○安定した生活リズムや生活習慣を形成する。	○集中の仕方を知り、落ち着いて集団活動に参加する。	○人に対する基本的な信頼感をもつ。	○自分の感覚の特性を知る。	○立つ・歩く・姿勢の保持など、基本的な日常動作を身に付ける。	○他者とやりとりする際のマナーや技能を身に付ける。
	活動例	・体スイッチを探そう(3時間) ・生活リズムを考えよう(2時間)	・自分ってこんな人(2時間) ・自分マップを作ろう(3時間) ・自分ランキング(2時間)	・なかよしすごろく(2時間) ・紙芝居リレー(3時間) ・ぼうずめくり(1時間)	・ブラックボックス(3時間) ・伝言ゲーム(2時間) ・どんなにおい?(2時間)	・体力テスト(4時間) ・バランスをとろう(2時間) ・一本橋ゲーム(1時間)	・自己紹介(1時間) ・おねがいトランプ(1時間) ・指令ゲーム(2時間) ・なんでもQ(2時間) ・動物マンション(2時間)
2学期	目標	○自分の特性を知り、環境や刺激の調節をする。	○変更や変化に対しての心理的な抵抗感の軽減。	○友達の気持ちや考えを理解し、尊重する。	○見ること、聞くこと、触ることなどの感覚を使って、周囲の状況を把握する。	○学習に関する用具をスムーズに使えるようにする。	○コミュニケーションをとろうとする意欲をもつ。 ○言語で体験や考えを整理する。
	活動例	・引っ越し屋さん 大作戦(2時間) ・インテリアデザイナーになろう(2時間)	・目力(めぢから)で伝えよう(2時間)	・スピーチをしよう(3時間) ・会話の達人(3時間) ・お笑いの達人(2時間) ・気持ちの温度計(2時間) ・貸し借りゲーム(2時間)	・さわって伝えよう(4時間) ・手話遊び(3時間) ・フライングクイズ(2時間)	・はばたき宇宙を作ろう(コンパス・3時間) ・魚釣りをしよう(2時間)	・スピーチをしよう(3時間) ・相談ピンゴ(2時間) ・説明しりとり ・ワードバスケット(2時間) ・協力ドミノ(2時間)
3学期	目標	○自己の健康の大切さに気付き、他者や環境に働きかける。	○自分の特性を受け止め、得意なことを生かして活動する。	○集団の中で状況に応じた行動をする。 ○集団の雰囲気やルールを理解し、集団活動に積極的に参加する。	○指示の内容や作業手順、時間の経過などを理解し、順序や時間、量の概念を形成する。	○両手の協応、目と手の協応、手足の協調運動など、目的に即した運動をする。	○場や相手の状況に応じて、対応の仕方を考える。
	活動例	・こんなときどうする?(3時間) ・健康計画作り(2時間)	・ピクトグラムで考えよう(4時間) ・なんでも発表会(4時間)	・ポッチャボール(2時間) ・運命の分かれ道(3時間) ・勝ったり負けたり、そのときどうする?(3時間)	・実行機能をきたえよう(4時間) ・4コマ漫画を作ろう(3時間) ・お話をしよう(3時間)	・ダンスを楽しもう(2時間) ・なわとびあそび(2時間)	・お店屋さんになろう(3時間) ・わたしはだれでしょう(2時間) ・15の扉(1時間) ・フルーツバスケット(2時間)

※実態や目標に合わせて、内容を組み合わせながら小集団での指導を行う。

※個別の目標に合わせた指導を、個別あるいは小集団で行う。

※学校生活に合わせたソーシャルスキルの指導を、個別あるいは小集団で行う。

時間割(一例)

年間固定の時間割ではありません。児童の実態に応じて柔軟に作成していきます。

(年度途中での変更もあります)

	月	火	水	木	金
1	自立(小集団)	算数	図工	理科	国語
2	算数	理科	図工	国語	算数
3	社会	体育	国語	家庭科	社会
4	道徳	自立(小集団)	算数	家庭科	自立(個別)
5	外国語	学活	音楽	算数	総合
6	音楽	国語		委・ク	体育

交流及び共同学習(児童の実態に応じて参加)

○全校や学年、学級との交流

- ・学校行事(運動会・音楽会・展覧会等)
- ・学年行事(校外学習・野外体験教室・日光移動教室等)
- ・全校朝会 ・児童集会 ・たてわり班活動(集会・遠足)
- ・特別活動(委員会・クラブ)

○交流学級との交流

- ・各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動(学級活動)等

登下校

登下校の安全のため、原則、保護者による送迎をお願いしています。

※事情がある場合は学校との相談になります。

学級の概要

<令和7年(2025年)4月8日現在>

1 学級の名称 特別支援学級 フレンド

2 しょうがい種別・学級数 自閉症・情緒障害等学級 3学級

3 指導体制

学級担任 4名 特別支援学級指導員 3名

交流及び共同学習支援員 1名

4 在籍児童数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	4	3	2	1	4	3	17
女子	1	0	2	0	0	0	3
合計	3	3	4	1	4	3	20